



「ふれあい」は
ホームページ
でもご覧いた
だけます



6月 イベントカレンダー

- 10日(水) 山茶花大学 (大代地区公民館 社会教育事業)
- 13日(土) 子どもコマ大戦 大代地区公民館場所 (大代地区公民館 社会教育事業)
- 17日(水) 出前講座 健康ゲーム (大代地区公民館 社会教育事業)

令和8年度 大代地区 町内会総会レポート

新緑の季節を迎え、大代地区の5つの町内会（東・西・南・中・北）において、令和8年度の定期総会が開催されました。各会場では、昨年度の活動報告とともに、新たな年度の事業計画が審議され、私たちの暮らしをより良くするための第一歩が力強く踏み出されました。

各町内会の動きとスローガンなど

- 大代東：「伝統の継承と親睦」を掲げ、例年以上に若い世代の出席が目立ちました。夏祭りや伝統行事もちつき大会の担い手育成に力を入れる計画です。
- 大代西：「スポーツや祭りなど様々な行事を通して住民が顔を合わせる機会を増やす」を活動の重点に据え、顔の見える関係づくりをさらに推進します。
- 大代南：「交流が生む、やさしい力。大代南は人と人をつなぎます」ふれあい祭りなどの活動を通して今年度も交流の場を作っていきます。
- 大代中：「多世代交流」として、公民館や公園を活用した健康づくりを推進して、お年寄りから子供まで集まれる場を増やします。
- 大代北：「一年を通して、きれいをつなぐ」を目標に、年11回の資源回収や年4回の地域清掃を行います。

大代に住む一人ひとりが主役となり、温かいコミュニティを築いていくスタートとなるのが総会です。

役員の方々を中心に、今年度も、大代地区が笑顔あふれる場所となるよう、住民一丸となって取り組んでいきましょう。

大代中区の総会の様子です



【防災クイズで学ぼう！】

北海道・三陸沖後発地震注意情報

4月20日に気象庁からだされた「北海道・三陸沖後発地震注意情報」。大代地区も対象になりました。皆さんはどのように対応したでしょうか？

防災クイズに挑戦して、自分の行動を振り返ってみませんか。正解は3ページにあります

Q1 「後発地震注意情報」が発表されるのは、どのような時でしょうか？

- ① 震度6弱以上の大きな地震が発生した直後
- ② マグニチュード7.0以上の地震が発生し、さらに大きな地震の発生可能性が高まった時
- ③ 津波警報が発表された時

私の答え

Q2 情報が出た際、原則として「避難」は必要でしょうか？

- ① 全員すぐに避難所へ行かなければならない
- ② 避難の必要は一切ない
- ③ 日常生活を継続しつつ、地震への備えを再確認する

私の答え



Q3 この情報の対象期間は、最初の地震が発生してから概ねどのくらいでしょうか？

- ① 24時間
- ② 3日間
- ③ 1週間

私の答え

Q4 情報が出ている期間中、家庭で「すぐにできる備え」として適切でないものは？

- ① 枕元に靴や懐中電灯を置いて寝る
- ② 避難場所と避難経路を家族で再確認する
- ③ 避難が面倒なので、揺れても家から出ないことに決める

私の答え

Q5 大代地区のように津波のリスクがある地域で、特に意識すべきことは？

- ① 揺れを感じたら、テレビを見て情報を確認してから動く
- ② 揺れを感じたら、すぐに高台などの安全な場所へ逃げる準備をしておく
- ③ 揺れを感じなくても、5分おきに海を見に行く

私の答え

Q6 最初の地震(M7.0以上)の後に、さらに大きな巨大地震が発生する確率は？

- ① 100回に1回程度
- ② 2回に1回(50%)程度
- ③ 100%確実に発生する

私の答え

Q7 大代地区のコミュニティとして、この情報の期間中にできることは？

- ① 近所同士で「備えは大丈夫？」と声を掛け合う
- ② 全員で一斉に買い物に行き、食料を買い占める
- ③ 不安を煽るような噂話を広める

私の答え

協力団体紹介

4月号からスタートした大代地区コミュニティ推進協議会の協力団体を紹介するリレー投稿。3回目は、防犯・防災対策協議会を紹介します。

地域の安全は私たちの手で！

防犯・防災対策協議会の活動紹介

1. 大代地区防犯・防災対策協議会とは？

大代防犯・防災対策協議会は、「自分たちの街は自分たちで守る」という志のもと、大代地区の安全・安心を支える団体です。警察や市役所、学校、そして地域の皆さんと連携し、犯罪のない住みよい街づくりを目指して日々活動しています。

令和8年4月28日に総会を開催し、「大代防犯協会」と「仙台港立地企業大代地区防災対策協議会」が合併して今後活動を行って行くこととなりました。

2. 主な活動内容

私たちの活動は、派手なものではありませんが、継続することで犯罪の抑止力となっています。

☺登下校の見守り活動（チャイルドガード）

子どもたちが安心して登下校できるよう、通学路の交差点や危険箇所での立哨活動を行っています。「おはよう」「おかえり」という声掛けを通じて、子どもたちの安全を確保するとともに、不審者への警戒を強めています。

☺青色回転灯車両（青パト）による巡回

青色の回転灯を装備した車両で地区内をパトロールしています。住宅街だけでなく、人通りの少ない路地裏や公園なども重点的に巡回し、犯罪の起きにくい環境づくりに努めています。

3. 地域に広がる「ながらパトロール」

特別な活動だけでなく、「犬の散歩をしながら」「ウォーキングをしながら」といった、日常生活の中で地域に目を配る「ながらパトロール」も大切にしています。

地域の皆さんの「ちょっとした目配り」が、何よりの防犯対策になります。

「犯罪を許さない、見逃さない大代」を、これからも共に作っていきましょう。

防災クイズの答え

Q1② 解説：巨大地震の想定震源域内でM7.0以上の地震が発生した際、その後の巨大地震への警戒を促すために発表されます。

Q2③ 解説：事前の避難までは求められていません。通常的生活を送りながら、家具の固定や避難経路の確認を徹底しましょう。

Q3③ 解説：最初の地震から1週間程度は、後発の巨大地震に注意を払うことになっています。

Q4③ 解説：大代地区のように津波のリスクがある場所では、揺れたらすぐに逃げるのが大原則です。

Q5② 解説：後発地震が発生した場合、津波が来るまでの時間が短い可能性があるため、即座の行動が重要です。

Q6① 解説：確率は低く感じるかもしれませんが、平常時と比較すれば格段にリスクが高まっている状態です。

Q7① 解説：地域のつながり（共助）が、いざという時の大きな力になります。

ココロ、つむぐ。～大代の素敵なあの人～

今月号から新しいシリーズ企画、地域で頑張る「人」にスポットを当てて紹介する「ココロ、つむぐ。～大代の素敵なあの人～」をスタートします。第1回目は、お弁当屋さん「beans キッチン」の小野月熙(おの つきひろ)さんです。

地域に寄り添う小さなお弁当屋さん

大代に新しくオープンした「beans(ビーンズ) キッチン」。“毎日食べたくなる、ほっとできるご飯”を届けたいという思いから生まれたお弁当屋さんです。店主の温かい人柄と地域への深い愛情が詰まったお店について、お話を伺いました。



😊 お店を始めたきっかけ

店主が大切にしているのは、「地域の方にほっとできる食事を届けたい」という思い。料理が好きで、毎日食べても飽きない“ちゃんとしたご飯”を作りたいという気持ちが、beans キッチン誕生の原点です。

店名の“beans”には、「小さな豆でも集まれば大きな力になる」という願いが込められています。地域の人、生産者さんとのつながりを大切にしたいという想いが表れています。

😊 お弁当づくりのこだわり

一番大切にしているのは、“毎日食べても飽きない味”。

濃すぎず、派手すぎず、思わず「また食べたい」と感じてもらえるような、やさしい味付けを心がけています。

また、地域の農家さんのお米や野菜を使い、できる限り手作りにこだわっています。

「ご飯がおいしい」と言われることも多く、店主の自信のひとつです。



♥ 大代でお店を開くということ

店主は震災まで大代で暮らし、中学2年生までこの地域で育ちました。「大代は自分にとって特別な場所」と語ります。

実際にお店を始めてみると、地域の温かさを改めて実感。

オープン直後から多くの方が声をかけてくれ、人との距離が近い大代の魅力を再確認したそうです。

♥ これからの地域とのつながり

お弁当を通して、地域の日常にそっと寄り添う存在でありたい。

イベント出店や地域活動にも積極的に参加し、子どもからご年配の方まで気軽に声をかけてもらえるお店を目指しています。

「今日もビーンズに行こうかな」と自然に思ってもらえる場所にしていきたいとのこと。

♥ 読者へのメッセージ

地域の皆さまのおかげで、こうしてお店を続けられています。

まだ始まったばかりですが、一つ一つ丁寧に、愛されるお店を目指して頑張ります。ぜひ気軽に立ち寄ってください。これからも beans キッチンをよろしくお願いいたします。

📝 次号投稿締切

6月16日(火)

発行：大代地区コミュニティ推進協議会 広報部
事務局：大代地区公民館

TEL：022-364-8442 FAX：022-364-8453